

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>子育ての情報提供の手段として、子育て応援ブック作成配付の継続と令和3年度から開始されたLINEを使った子育て支援情報の提供の充実が必要。</p> <p>子育て応援事業として、様々な事業を展開しており、平成28年度から新規事業4事業を開始し、継続中であり、認知度も高まって実績が上がっており、事業の継続が必要。</p> <p>男性子育て推進事業とし、イクボスの普及推進としての事業の継続と発展が必要。</p>
見直し・改善内容	<p>当事業は様々な事業を総合的に展開しているため、それぞれにおいて継続が必要である。継続していく中においても、それぞれの事業の充実、拡充等を含めて検討しながら事業を進めていく必要がある。</p>